

## &lt; 運営推進会議における評価 &gt;

## 【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 北海長正会	事業所名	北広島複合型サービス四恩園
所在地	(〒 061-1137) 北広島市緑陽町 1 丁目 2 番地		

## 【事業所の特徴、特に力を入れている点】

認知症の方や医療ニーズの高い要介護者の在宅生活を支える「介護と医療の包括サービス」です。  
 住み慣れた地域での生活を継続することができるように「通い」を中心にして利用者の状態や希望を踏まえ、「訪問」「泊まり」「看護」サービスを一体的に提供します。なじみの介護・看護職員が個別性の高いサービスを提供し、現場に直結した相談援助で、お客様とご家族の暮らしを支えます。医療機関やご家族と一緒に、看取りの支援も行います。

## 【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2023 年 12 月 14 日	従業者等自己評価 実施人数	( 3 ) 人	※管理者を含む
----------------	---------------------	------------------	---------	---------

## 【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2024 年 2 月 14 日	出席人数 (合計)	( 8 ) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 ( 3 人) <input type="checkbox"/> 市町村職員 ( 1 人) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 ( 1 人) <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 ( 1 人) <input type="checkbox"/> 利用者 ( ____ 人) <input type="checkbox"/> 利用者の家族 ( 1 人) <input type="checkbox"/> 知見を有する者 ( 1 人) <input type="checkbox"/> その他 ( ____ 人)			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		・PC内の情報流出等防止のため、現在のセキュリティ体制を維持しつつ、また新たなウイルスへの対策を講ずる。	・「エモテット」の感染対策のため、専用の感染確認ツール「エモチェック」による確認と、フルスキャンを実施。他のウイルス感染や不具合情報等を委員会から情報提供してもらい、注意を促した。	・引き続き、個人情報漏洩には十分注意しつつ、エモチェックやウィルスバスターによるウイルス対策を実施していくことを報告する。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	・引き続き、ご利用されているお客様、特に泊り中心に利用されているお客様については、ご家族様と過ごす時間を確保できるよう努める。	・長期で宿泊されているお客様については、ご家族様へ定期的に生活のご様子を報告させていただいたり、ご家族様来所時は短時間であっても面会いただけるよう努めた。	・コロナが5類に移行したこともあり、居室やともに活動室を活用し、いつでも面会できるようにしている。短時間でも対面でお会いいただけるよう配慮している。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	・まん延防止が解除となっている期間については、感染予防をしつつお客様に楽しんで頂けるよう、支援を行なう。	・コロナが5類に移行後は、地域行事などにも参加。今後も地域の皆さんや他機関との連携を意識し活動していきたい。	・ともにという社会資源を存分に活かし、お客様と地域住民との交流を図ることができる機会を多く持ちたい。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	・市内で唯一の看護小規模多機能施設であるが、認知度が低い現状である。地域に求められる資源となれるよう、積極的に周知活動をしていきたい。	・現在、複合型サービスのパンフレット作成に向けて取り組んでいるところである。	・パンフレットに関し、8割方完成していることを報告。早期の完成に向けて取り組んでいきたい。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)		・お客様やご家族様との対話からより良い在宅生活を過ごして頂けるよう職員一丸となりサービス提供をしていきたい。	・定期的に職員全体会議を開催。虐待防止や感染対応時のガウンテクニック等の研修に取り組んだ。	・お客様に喜んでいただけるように、そして役に立てるような研修の企画を実施していきたい。

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)		<ul style="list-style-type: none"> <li>各項目について、自己評価内容を追加説明する。</li> <li>概ねよくできているとの評価。</li> <li>ウィルスによる個人情報流出等、日頃より注意を払っていることを報告する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所パンフレットの完成を目指し、認知度の低い看護小規模多機能居宅介護を多くの方に知っていただけるよう周知に取り組む。</li> </ul>
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各項目について、自己評価内容を追加説明する。</li> <li>概ねよくできているとの評価。</li> <li>サ高住しおんや訪問看護ステーション四恩園等、他事業所との報告連絡相談を密に実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リハビリの専門職が在籍していないことから、リハビリの専門性を高めるべく、法人作業療法士と連携し、お客様の生活の質を高められるよう取り組んでいく。</li> </ul>
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各項目について、自己評価内容を追加説明する。</li> <li>概ねよくできているとの評価。</li> <li>コロナが5類に移行。感染対策をしつつ、お客様に楽しんでいただける行事やレクリエーションの実施に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2024年1～2月にかけて、お客様・職員にコロナ陽性者が出た。体調の変化に配慮しつつ、感染対策を実施しながら、お客様に楽しんでいただける行事やレクの企画・運営に取り組んでいきたい。</li> </ul>
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各項目について、自己評価内容を追加説明する。</li> <li>概ねよくできているとの評価。</li> <li>団地地区にとどまらず、大曲地区や西の里地区からの新規お客様にもご利用いただいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域密着型の施設であることを念頭に、市内にお住いのお客様の新規受け入れをスムーズに実施できるよう、他機関とも連携していきたい。</li> </ul>
III. 結果評価 (評価項目 42～44)		<ul style="list-style-type: none"> <li>各項目について、自己評価内容を追加説明する。</li> <li>概ねよくできているとの評価。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>より開かれた介護保険施設になれるよう、お客様はもちろんのこと、ご家族様や地域住民に対しても、一つひとつ丁寧な対応を心掛けていきたい。</li> </ul>

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>I 事業運営の評価 [適切な事業運営]</b>							
<b>(1) 理念等の明確化</b>							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	○				・自己評価の通り。8割方完成している。早期の完成に向けて取り組んでいきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」</li> <li>✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」</li> <li>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</li> </ul>
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	○				・自己評価の通り。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します</li> <li>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</li> </ul>
<b>(2) 人材の育成</b>							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な		○			・自己評価の通り。実務者研修や介護福祉士、ケアマネジ	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	育成計画などを作成している	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 法人として人材育成考課システムを実施。職員の面談も行なっている。また継続して資格取得に向け情報提供や支援の機会をもっている。				ヤーの受験支援や情報提供を実施している。	✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	○				・自己評価の通り。	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	○				・自己評価の通り。	✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します ✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
<b>(3) 組織体制の構築</b>							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要	○				・自己評価の通り。	✓ 「得られた要望・助言等のサービ

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	望、助言等を、サービスの提供等に反映させている						スへの反映」の視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 反映させている。会議録はいつでも閲覧できるように工夫。毎回、温かな助言や励ましをいただいている。地域の支えを感じている。					
<b>② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備</b>							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	○				・自己評価の通り。働き方改革など、時代の流れに合わせた規定整備に努めている。	✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 今の時代と整合性のある法人規定の改正を実施した。公休や有休、病気休暇の取得ができる環境を整えている。					
<b>(4) 情報提供・共有のための基盤整備</b>							
<b>① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備</b>							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				・自己評価の通り。	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 連絡ノートやタブレットを活用し速やかに申し送るよう努めている。状況が変化した際にも同様の周知を実施。またサ高住や訪問看護など他事業所との連携も密に行った。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
<b>(5) 安全管理の徹底</b>							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	○				・ 自己評価の通り。  [具体的な状況・取組内容] ヒヤリハットや事故などの事例から、対応策や改善策を検討し次に活かせるよう取り組んでいる。交通安全については、事故防止に関する注意喚起の書面を掲示したり、法人研修を行っている。小さなことであってもヒヤリハット提出の徹底し、申し送りでの情報共有を行う。	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します 対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	○				・ 自己評価の通り。火災を想定した避難訓練や緊急時の職員連絡網(自動通報される職員もあり)の訓練を実施した。  [具体的な状況・取組内容] 法人の災害時マニュアルが整備されている。緊急時もサービス提供できるよう対策を取っている。避難訓練や緊急時連絡網の訓練も実施した。	✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます
<b>II サービス提供等の評価</b>							
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>							
<b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あま り で き て い な い	全 く で き て い な い		
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	○				・自己評価の通り。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します</li> <li>✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた 24 時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 概ね行っている。お客様の在宅生活維持にはご家族様の支援は重要であるとの認識で細やかなサポート、相談援助を心掛けている。					
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	○				・自己評価の通り。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 両職種、意見を出し合い行っている。それぞれの専門性が発揮されるよう取り組んでいきたい。					
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その	○				・自己評価の通り。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し</li> </ul>



番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
	目標の達成に向けた計画が作成されている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 行っている。ご本人様のご希望と同時にご家族様のご意向や介護力の評価を行っている。					利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価の通り。リハビリの専門職が在籍していないことから、リハビリの専門性を高めるべく、法人作業療法士と連携し、お客様の生活の質を高められるよう取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します</li> <li>「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます</li> </ul>
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価の通り。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します</li> <li>介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です</li> </ul>
<b>(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践</b>							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	○				・自己評価の通り。	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> お客様の状況変化に合わせ、ご家族様とも相談をしつつ、臨機応変なサービス調整・提供を心掛けている。					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	○				・自己評価の通り。ご家族様とお会いする機会も多くあり、相談しやすい環境作りにも努めている。	✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> モニタリング訪問や送迎時など、ご家族様から生活状況の把握を実施。状況変化に応じ、随時相談援助を行っている。ご自宅での生活が難しくなっても、日中の外出や帰宅など、ご家族様と過ごす時間の確保に努めている。					
② 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	○				・自己評価の通り。	✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 定期的に書面での報告、病状変化について緊急時は電話連絡、往診時に口頭での報告、それ以外は受診時に手紙を用意するなど、主治医との連携に努めている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	○				・自己評価の通り。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です</li> </ul>
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	○				・自己評価の通り。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します</li> </ul>
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	○				・自己評価の通り。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します</li> <li>✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		て情報の提供や共有に努めている。					の1つとして期待されます
<b>(4)利用者等との情報及び意識の共有</b>							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている		○			・自己評価の通り。現在新たなパンフレット作成に向け取り組んでいる。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 説明はしているが、やはり理解いただくことが難しい事が多い。必要時に都度説明を行っている。わかりやすい資料、パンフレットを作成中。					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	○				・自己評価の通り。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 行っている。特にプラン更新時は詳しく説明するよう努めている。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	○				・自己評価の通り。ご自宅での介護方法などについて問い合わせがあった際は、ご自宅を訪問し助言するなど丁寧な対応に努めた。	✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 行っている。より良いケアなどの方法について質問があった際は、その都度わかりやすい説明を心掛けている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	○				・ 自己評価の通り。  [具体的な状況・取組内容] 行っている。特にモニタリング時には意向を確認するようにしている。	✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができる	○				・ 自己評価の通り。  [具体的な状況・取組内容] 行っている。実際にそのような時になった際に改めて生活の場について、情報提供も含め丁寧に関わるようにしている。	✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	○				・ 自己評価の通り。  [具体的な状況・取組内容] 平成 30 年に 1 件看取りを行い実施したが、その後はなし。複合型サービスの機能を発揮できるよう努めたい。	✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
<b>2. 多機関・多職種との連携</b>							
<b>(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供</b>							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等	○				・ 自己評価の通り。新規相談の多い医療機関からの新規	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価し

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 病院からの新規受け入れにあたり、入院中に病院スタッフ、ご家族様、ご本人様とのカンファレンスを行っている。訪問看護報告書や電話にて、病状に合わせ必要な報告を行っている。				相談時は、病院訪問し、ご本人様やご家族様と実際にお会いするなど、丁寧な対応を心掛けている。	ます ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
③ 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている		○			・自己評価の通り。	✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
④ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている		○			・自己評価の通り。	✓ 「即座に対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します
<b>(2) 多職種との連携体制の構築</b>							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	○				<p>・自己評価の通り。ともにという社会資源を存分に活かし、お客様と地域住民との交流を図ることができる機会を多く持ちたい。</p>	<p>✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します</p> <p>✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」</p> <p>✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です</p>
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>							
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○				<p>・自己評価の通り。</p>	<p>✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します</p>
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について	○				<p>・自己評価の通り。</p>	<p>✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です</p>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
	て、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 複合型サービスを解りやすく理解いただけるよう、現在誰が見てもわかりやすいパンフレットの作成に取り組んでいる。パンフレットの設置や関係機関への送付をしていきたい。					✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
<b>(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮</b>							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	○				・自己評価の通り。  ✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します	
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整ってお		○			・自己評価の通り。  ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」	



番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ できて いる	あまり できて いない	全く できて いない		
	り、積極的に受け入れている					日中の利用は可能だが、夜間は看護師が不在であるため対応はできていない。	<p>が整っていない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている			○		<p>・自己評価の通り。体制が整っていないため、「あまりできていない」にチェックが妥当であるとご意見いただく。</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 病院併設ではないため、受け入れは難しい。</p>	<p>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</p> <p>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	○				<p>・自己評価の通り。</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> ご利用いただいているお客様の看取り支援は、お客様・ご家族様のご意向を確認しつつ、ご自宅や複合型事業所で医療体制が取れるよう準備している。</p>	<p>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</p> <p>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</p> <p>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</p>
<b>(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</b>							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	○				・自己評価の通り。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します</li> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます</li> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」</li> </ul>
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	○				・自己評価の通り。地域密着型の施設であることを念頭に、市内にお住いのお客様の新規受け入れをスムーズに実施できるよう、他機関とも連携していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます</li> <li>✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」</li> </ul>
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	○				・自己評価の通り。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します</li> <li>✓ 今後は、サービスの提供等を通じ</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		し、ベンチを設置する活動を行うなど、地域課題を提起し問題解決に取り組んでいる。					<p>て得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	○				<p>・ 自己評価の通り。</p>	<p>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します</p> <p>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</p> <p>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</p>
		<p><b>[具体的な状況・取組内容]</b>            介護者への介助方法の指導・助言や、認知症の理解を促すなど行っている。必要に応じて、ご近所の見守りや支援をお願いする事もあった。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
<b>Ⅲ 結果評価</b>				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	<p>①. ほぼ全ての利用者について、達成されている            2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている            3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている            4. 利用者の1/3には満たない</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u>            ほぼ達成されている。</p>	・自己評価の通り。	✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	<p>①. ほぼ全ての利用者について、達成されている            2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている            3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている            4. 利用者の1/3には満たない</p> <p><u>[具体的な状況・取組内容]</u>            ほぼ達成されている。</p>	・自己評価の通り。	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<p>①. ほぼ全ての利用者について、達成されている            ②. 利用者の2/3くらいについて、達成されている            ③. 利用者の1/3くらいについて、達成されている            ④. 利用者の1/3には満たない            ⑤. 看取りの希望者はいない</p> <p><b>[具体的な状況・取組内容]</b>            ケアマネジャーのモニタリング等において、安心感が得られているとの確認をしている。</p>	<p>・自己評価の通り。</p>	<p>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>